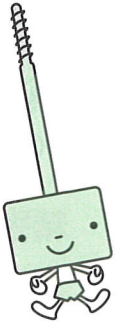


大腸がん検診のススメ

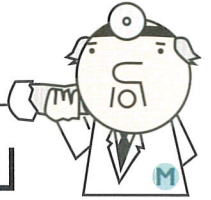
(監修) 福井県健康管理協会 県民健康センター所長 松田一夫

便潜血検査で陽性になったら… 必ず精密検査を受けましょう！

「便潜血検査で陽性になった」ということは、「便に血液が混じていた」ということ。でもどこから出血しているのか、何が原因なのかまではこの検査ではわかりません。陽性の人から見つかる病気は、大腸がんのほかに大腸ポリープや潰瘍性大腸炎などがありますが、その割合は**大腸がんが30人に1人、ポリープが5人に1人**といわれ、それぞれ治療方法も違います。つまり出血原因の特定と治療方法を定めるために精密検査が必要なのです。

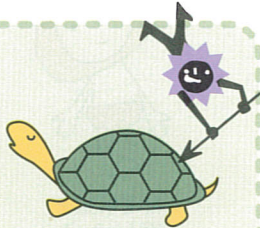


聞いてみました！
よくある「精密検査を受けない理由」



Kさんの場合

だってさ
自覚症状がないからね、
受けなくても大丈夫



大腸がんの場合、はっきりとした自覚症状のない場合がほとんどです。それに他の消化器がんに比べると一般的に発育が遅いので、症状を感じるようになった頃にはもう進行したがんになっていることも多いのです。

例えば「腹痛」は普段の生活の中でも色々な理由で起こります。でも大腸がんが原因で起こることもあり、単なる腹痛と思っていたら大腸がんだったということもあります。

ですから何か自覚症状を感じてから検査を受けるのではなく、「症状のないうちにこそ」早めに精密検査を受けることが大切なのです。

そのほかにも…

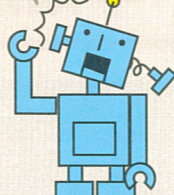
忙しい



検査が
コワイ

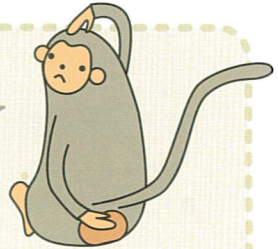


忘れてた



Sさんの場合

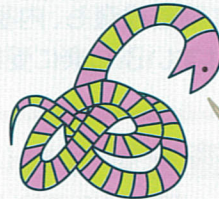
言いたくないけど、
痔の出血だから



陽性なのは痔のせいだと決めつけると、せっかくの大腸がんを見つけるチャンスを失ってしまいます。特に肛門の近くにがんがある場合、痔の出血とがんの出血を区別することはできません。自己判断はせず、たとえ痔でも陽性の結果が出たら必ず精密検査を受けましょう。

Hさんの場合

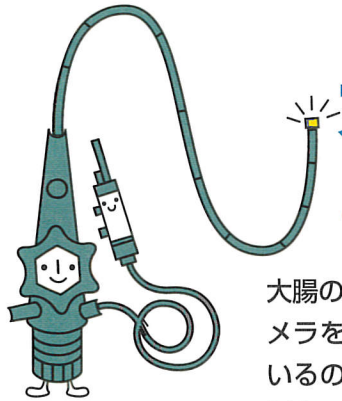
前も陽性で
ちゃんと受けたけど、
何にも
なかったし…



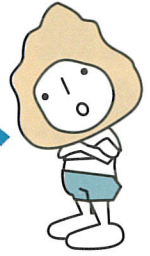
精密検査で内視鏡検査をしても、大腸は長くて複雑なので場所によっては見つけにくい場合もあります。また大腸がんは一般的に発育の遅いがんなのですが中には発育の速いものもあるので、前回の精密検査では異常なしだった可能性もあります。

大腸がん検診のススメ

(監修) 福井県健康管理協会 県民健康センター所長 松田一夫



大腸の精密検査って、 どんな検査？



大腸の精密検査には、胃の検査と同じように「バリウムを使うX線検査」と「カメラを使った内視鏡検査」がありますが、現在最も精度が高く一番行なわれているのは内視鏡検査です。この内視鏡検査の大切なポイントは検査前の「前処置」です。1.2~1.5mもある長い大腸を隅々まで見るためには中身を空っぽにしなければなりません。もしも腸の中に便が残っていたら時間もかかり、正しく検査ができなかったり、検査が受けられなくなることもあるからです。



それでは精密検査で「あなたが何をして」、
「どんな検査を受けるのか」を見てみましょう。

「前処置」とは、腸の中の大掃除。

検査前日は

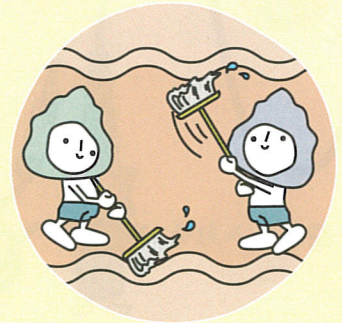
- 夕食は繊維質の少ない消化の良いものを食べてください。
- 食後に下剤を飲みます。

できるだけ前日のうちに便を出しておくほうが、検査当日の前処置も早く、楽にできます。

検査当日は

- 朝から絶食してください。
- 検査の数時間前に洗腸液を飲みます。

洗腸液は腸のシワの間にたまる細かな便のカスまで洗い流すことができます。



洗腸液の 飲み方

約2リットルの
洗腸液を
飲みます。

洗腸液は吸収されず、
しばらくすると水状の
便となって出てきますので、
数回トイレに行きます。

便に固形物がなく、
薄い黄色~無色透明に
なれば準備OKです。

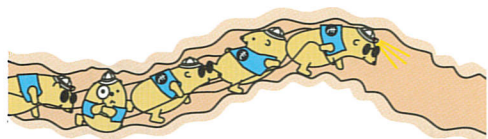
※詳しくは検査担当者に確認しておこなってください



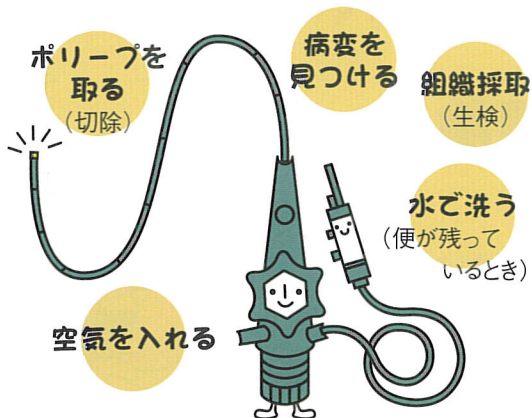
精密検査は、キレイな腸で!

検査がうまくいくかどうかは、
あなたの確実な「前処置」にかかっているのです。

内視鏡は腸の中の探検隊。



内視鏡検査とは、真っ暗な洞窟でライトをつけて発掘作業をするようなもの。この内視鏡は細くてよく曲がる柔らかな素材でできているので、曲がりくねった大腸の中を調べるのにとっても適しています。また先端のライトと小型カメラで腸の中を鮮明に見ることができるので、直接観察して病変を見つけたり切除することも可能です。



内視鏡検査は大腸がんの早期発見のためには欠かせない検査です。

また早期に発見すれば手術をしなくても内視鏡で治療できるケースも多数あります。

昔からつらいと思われがちな検査ですが、今では内視鏡の進歩と挿入技術の向上により、

受けてみると「思ったより楽だった」「意外と苦痛がなかった」

という感想が多く聞かれます。



**内視鏡による精密検査は、
確実に安心な検査です。**

今回の精密検査で異常がなくても、
大腸がん検診は毎年受けましょう。

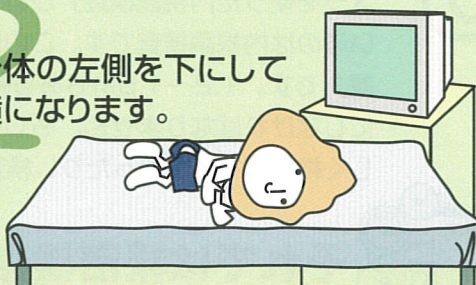
ちょっとドキドキ、 内視鏡検査の受け方

1 専用の検査着に着替えます。

後ろに
切れ目があります。



2 身体の左側を下にして
横になります。



3 肛門から内視鏡が挿入され、
大腸の中を直接観察します。

4 すみずみまで見るために、
身体の向きを変えながら観察します。

※病院によっては、あらかじめ鎮静鎮痛剤や腸の動きをおさえる注射をすることもあります。

※検査にかかる時間は、腸の長さや検査内容により個人差があります。

